

安倍晋三

元内閣総理大臣追悼

編集委員会

今月号では、7月8日に亡くなられた安倍晋三元内閣総理大臣への哀悼の意を込めて特集を組みました。

安倍晋三氏は、1954年に東京で生まれ、成蹊大学を卒業後、神戸製鋼所勤務を経て、1982年に父の安倍晋太郎外務大臣の秘書官を務められました。父晋太郎氏の急死後、その地盤を引き継ぎ、1993年に衆議院議員に初当選しました。

以来、連続7回当選。内閣官房副長官、自由民主党幹事長、内閣官房長官を経て、2006年に第90代総理大臣に就任しました。戦後生まれで初となる内閣総理大臣でしたが、翌年、健康上の理由で辞任、しかし2012年には総理大臣復帰を果たしました。

在任期間は合わせて3000日を超え、歴代最長を記録しました。その功績は世界中から高く評価され、また日本の安全保障面の改革へのリーダーシップ発揮も素晴らしいものが

あり、明確な国家観を示した大宰相でした。

本特集では、廣瀬誠氏、富澤暉氏、岩田清文氏そして白石博司氏からご寄稿いただきました。



防衛大学校卒業式で訓示をする安倍晋三元内閣総理大臣
(2019年3月) 出典：防衛大学校HP